

4.地域でつくる支え合いのしくみ

麻生地区徘徊高齢者搜索模擬訓練の実施について

麻生地区福祉のまち推進センター高齢者等支援委員会 委員長 小笠原 友之

【はじめに】

近年認知症の方が行方不明となったり、事故に巻き込まれるケースが後を絶たず、地域社会の中でも大きな問題として認識されてきております。また、高齢者に対する支援に関しては、個人や家族だけでは解決ができず、地域全体で見守り、対応していく助け合いの仕組みづくりが重要です。

そこで、麻生地区では、各種の支援を必要としている高齢者等に対し、地域ぐるみで必要な支援活動を行うため、2017年6月、地区福祉のまち推進センターに高齢者等支援委員会を立ち上げました。

高齢者等支援委員会では、認知症高齢者に対する関心や認識を高めるとともに、支援の必要な高齢者を地域で見守り支えようという意識を喚起するための取り組みとして、2004年に福岡県大牟田市で始まり、近年では全国的に行われるようになってきた徘徊高齢者搜索模擬訓練の実施に取り組むこととしました。

地域住民の方々や関係機関の方々と共に、他地域での実践例なども調査しながら協議を進め、2017年10月「第1回麻生地区高齢者等認知症SOSネットワーク搜索模擬訓練」を実施するに至りました。札幌市内では、清田区・西区・東区に続くもので、北区内では初の取り組みとなりました。

【第1回搜索模擬訓練を実施】

第1回搜索模擬訓練は、2017年10月15日(日)13時から、麻生地区会館とその周辺地域を会場に実施しました。参加した地域住民約100人は、最初に会館内で「徘徊高齢者の現状」や「認知症の方への声掛け方法」について分かりやすく解説した講話や寸劇で理解を深め、その後は屋外に移動して徘徊者役2人の搜索を行いました。徘徊者役を

発見した参加者は、「3つのない=驚かせない。急がせない。自尊心を傷つけない。」に留意しながら、実際に声掛けを行う体験訓練を実践しました。

参加者を対象に実施したアンケートでは、「声を掛ける大事さや勇気が必要と感じた」「ただの学習会以上の効果が得られたと思う」「模擬体験したので今後の行動力になりそうだ」「実際の場面に遭遇した時に、どのように対応してよいかイメージが具体化した」といった感想が寄せられました。単に認知症についての知識習得に終わるのではなく、実際の訓練を通じて「声掛け」の方法を学び、実践することの意義が大きいという成果が得られた訓練となりました。



第1回搜索模擬訓練の様子

【2回目の搜索模擬訓練】

前年の模擬訓練が大変好評であったことから、2018年9月29日(土)に「第2回麻生SOSネットワーク声かけ訓練～認知症の人と家族を支えるまちづくり～」を実施し、約90人の地域住民が参加しました。2回目の取り組みでは、麻生児童会館の子どもたちによる絵本「ぼくのおじいちゃんは冒険家」の朗読や、高齢者等支援委員会メンバーによる寸劇で認知症への理解を深め、後半は近隣の公園等でグループに分かれて認知症役の方に声を掛けるなど、約3時間の訓練を行いました。

◆麻生地区徘徊高齢者搜索模擬訓練の実施について



第2回訓練の様子（寸劇）



第2回訓練の様子（絵本の朗読）



第2回訓練の様子（公園での声掛けの実践）
（以上3点写真提供：広報紙あさぶ）

【2回の訓練を終えて】

2017年度及び2018年度に実施した2回の訓練は、参加者の満足度も高く、大きな成功を収めることができましたが、その一番の要因は、この訓練が、ごく自然に地域から立ち上がった取り組みであったということにあると考えています。今回の訓練は、地域住民から声が上がリ、会議の開催やどんな訓練にしたいかという設定、役割分担などは、地域住民が主となって企画運営しました。

スタッフ全てが、自ら立ち上げた事業であると誇りを持ち、成功することを願ってまい進したことが、成功につながった最大の要因であると確信しています。いかに地域からの掘り起こしが大切であるか、自ら事業を起こすことが大切であるかを痛感しました。

また、訓練の実施に当たっては、北区保健福祉課、北区社会福祉協議会、北区第2地域包括支援センター、北区介護予防センター百合が原、地域の福祉施設、北警察署など、多くの関係機関のご協力をいただきました。地域住民と様々な機関が連携・協力して取り組みを進めたことにより、効果的な訓練の実施につなげることができました。

【今後の取り組みに向けて】

今後もさらに高齢化が進む地域社会において、認知症高齢者や障がい者を有する方々が、人として尊重され、平等に尊厳を持って暮らせる環境づくりを行うためには、住民同士の協力や情報の共有がますます重要となってきます。

そのために、私たちはこれらの取り組みを他人事ではなく、いずれ自分たちにもふりかかる事柄として主体的に捉え、関係各所とも連携し、地域ぐるみで幅広い理解を得ながら、継続した取り組みになるよう努めてまいりたいと考えております。

○お問い合わせ

麻生まちづくりセンター

TEL. 011-757-5810